建築物排出量削減計画書

(宛	先)	京	都	市	長	令和 元年 12月 13日
在址	拉)			は,主: 二丁 [氏名(法人にあっては,名称及び代表名) JR西日本不動産開発株式会社 代表取締役社長 國廣 敏彦 電話 06-7167-5605

京都市地球温暖化対策条例 2 第36条第1項 □第36条第3項 □第39条第1項 □第39条第2項において準用する同条例第36条第3項							
	こより提出し		•				
工事	の 種 別	☑新第	□ 増築 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □				
上 事 宿 日	工予定年月	20	20 年 1 月 6	日			
工事完日	了予定年月	20	21 年 8 月 30) 目			
	名 称	(仮称) 西	「洞院計画				
	所 在 地	京都府京都市下京区四条通流	由小路東入傘鉾町44-2,42-2の一部	3,50の一部、蟷螂山町474の一部			
	構 造	鉄骨造 一部 造	階数	地上8階地下0階			
	敷地面積	2508.99平方メート ル	高さ	34.25メートル			
	建築面積	2191.09平方メート ル	床 面 積 の 合 計 (増築部分の床面積)	12608.38 平方メートル (平方メートル)			
		住 宅	'	平方メートル			
建築物		ホ テ ル 等	8804. 47				
の概要		病 院 等					
		物品販売業を営む 店舗等	2075. 51				
	用途別の床 面積	事 務 所 等					
		学 校 等					
		飲 食 店 等					
		集会所等					
		工 場 等	1728.40				
建築環境総合性能評価システムによる評 価の結果			BEE=1.5 ランクA				

	室効果ガスの排出の量の削減を図るた こ実施する措置	概
\square	外壁,屋根又は床の断熱	屋根・外壁:硬質ウレタンフォームA種 1H
	窓の断熱又は日射の遮蔽	
\square	エネルギー消費効率の高い設備の 導入	LED 照明設備の採用
Ø	再生可能エネルギーの利用	太陽光発電設備の設置
V	環境への負荷が少ない材料の利用	内装仕上材:F☆☆☆☆を使用
Ø	地 域 産 木 材 の 利 用	ホテル客室の壁下地に利用
\square	節 水 型 設 備 の 設 置	節水型便器の採用
	雨水,雑排水等の利用	
V	耐用年数が長い材料及び設備の利 用	床:タイルカーペット、壁・天井:ビニルクロス
	建築物の維持管理の容易性に対す る配慮	
Ŋ	緑 化 の 実 施	3Fに庭園を設ける
	そ の 他	

- 注1 該当する□には、レ印を記入してください。
 - 2 この計画書には、温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施しようとする措置の内容が分かる書類を添付してください。